

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(総科 ((総科 C)1 年))

范 莉馨・非常勤講師 / 全学共通教育センター

1 単位 前期 火 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語 (1)』)

【授業の目的】 現代標準中国語を学ぶことを目的とします。現在、世界の約 5 分の 1 の人々が中国語を使用しています。現代中国語は数ある方言に対して普遍的な価値を持ち、世界各地の華人社会の共通語であり、国連の公用語のひとつともなっています。国際人になるための大変役立つ言語です。

【授業の概要】 中国語で使われている文字は漢字ですがその漢字の読み方を示すものは「ピンイン」と呼ばれ、ローマ字で表記され、その特異なイントネーションは「声調」と呼ばれ「四声」で表記されます。「ピンイン」と「声調」を習得することが中国語 (1) の第一の目標です。ピンインと声調は繰り返し発音し、体で覚えましょう。次に基本文型を学びます。文法を理解し、少しずつ語彙を増やし、簡単な日常会話もできるようになるでしょう。上記の目標を達成するため、週二回の授業を二人の教員が分担して授業を進めます。

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 正確な発音と基礎文法を身につけることを目標とします。

【授業の計画】

- 1.1 ガイダンス
2. 第 1 課 発音 (1)
3. 第 2 課 発音 (2)
4. 第 3 課 発音 (3)
5. 発音まとめ
6. 第 4 課
7. 第 4 課練習
8. 中間考査
9. 9~10 第 5 課
10. 11-12 第 6 課
11. 13 復習
12. 14 口頭試験
13. 15 期末試験
14. なお、より詳細な授業計画は第一回の授業で説明するので、必ず出席する

こと。

【教科書】 張偉雄, 黄麗華, 邵迎建 『活用中国語』(白帝社, 2010 年)2,600 円。辞書については授業で指示する (必ず購入すること)。

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 二人の教員がそれぞれ別個に評価を行い、合算して最終的な評価を決定します。評価方法:平常点, 中間考査及び期末試験により総合的に評価します。

【再試験の有無】 有

【受講者へのメッセージ】 間違えることを恐れずに積極的に中国語で話しかけてください。それが上達への近道です。欠席・遅刻はしないこと (特に第一回目はガイダンスなので必ず出席すること)。週一回のみの履修不可なので再受講希望者は要注意。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220948>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 范。

【備考】 木 1-2 施先生とペア

Chinese

Introductory Chinese

(総科((総科C)1年))

名 姓・PART-TIME LECTURER / CENTER FOR GENERAL EDUCATION

1 unit 前期 火 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

Target) 現代標準中国語を学ぶことを目的とします。現在、世界の約 5 分の 1 の人々が中国語を使用しています。現代中国語は数ある方言に対して普遍的な価値を持ち、世界各地の華人社会の共通語であり、国連の公用語のひとつともなっています。国際人になるための大変役立つ言語です。

Outline) 中国語で使われている文字は漢字ですがその漢字の読み方を示すものは「ピンイン」と呼ばれ、ローマ字で表記され、その特異なイントネーションは「声調」と呼ばれ「四声」で表記されます。「ピンイン」と「声調」を習得することが中国語(1)の第一の目標です。ピンインと声調は繰り返し発音し、体で覚えましょう。次に基本文型を学びます。文法を理解し、少しずつ語彙を増やし、簡単な日常会話もできるようになるでしょう。上記の目標を達成するため、週二回の授業を二人の教員が分担して授業を進めます。

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal) 正確な発音と基礎文法を身につけることを目標とします。

Schedule)

1. 1 ガイダンス
2. 第 1 課 発音(1)
3. 第 2 課 発音(2)
4. 第 3 課 発音(3)
5. 発音まとめ
6. 第 4 課
7. 第 4 課練習
8. 中間考査
9. 9~ 10 第 5 課
10. 11-12 第 6 課
11. 13 復習
12. 14 口頭試験
13. 15 期末試験

14. なお、より詳細な授業計画は第一回の授業で説明するので、必ず出席する

こと。

Textbook) 張偉雄, 黄麗華, 邵迎建 『活用中国語』(白帝社, 2010 年)2,600 円, 辞書については授業で指示する(必ず購入すること)。

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 二人の教員がそれぞれ別個に評価を行い、合算して最終的な評価を決定します。評価方法:平常点, 中間考査及び期末試験により総合的に評価します。

Re-evaluation) 有

Message) 間違えることを恐れずに積極的に中国語で話しかけてください。それが上達への近道です。欠席・遅刻はしないこと(特に第一回目はガイダンスなので必ず出席すること)。週一回のみの履修不可なので再受講希望者は要注意。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220948>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ 范。

Note) 木 1:2 施先生とペア